

地域文化 調査発表会

PROGRAM

- 開会のあいさつ 13:00
- 移住を通して見る地域の再発見と新発見 13:05
- 台湾における様々な文化の関係性について 13:50
- 休 憩 —————
- 鳥取の文化交流史① 14:45
- 戦後鳥取のラジオドラマ「五平老人」 一次世代の〈森〉を支えた人々 15:30
- 閉会のあいさつ 16:10

2018年1月20日(土)

開場12時30分 開会13時

鳥取大学 地域学部棟 5 階 5160 講義室

入場無料・来聴歓迎



1

13:05～

移住を通して見る地域の再発見と新発見

鳥取に魅力を感じて移住してきた人々を対象に、なぜ移住し、どのような活動をしているのか等についてお話を伺いました。また、鳥取大学生にアンケート調査を実施し、内側と外側両方の視点で地域（鳥取）の魅力と課題を分析し、考察した結果も発表します。さらに、調査に携わった学生自身の気づきや変化をふまえて“まちづくり”について考えたことを報告します。



移住者へのインタビュー

2

13:50～

台湾における様々な文化の関係性について

「東アジア」グループは今年度も台湾でフィールドワークを行いました。調査地は台北と台南で、保生大帝などの民間信仰の廟、仏教寺院、カトリック教会とプロテスタント教会、故宮博物院を調べました。民間信仰の多様性、キリスト教の現地化、中国大陆由来の文物と歴史に焦点を絞って、台湾に様々な信仰や文化が入ってくるなかでどのような関係性が生まれているのか、そこにどのような意味を見出すことができるのか、考えます。



台湾鹽水天主聖神堂

3

14:45～

鳥取の文化交流史①

鳥取には古くからの文化交流の歴史があります。しかし、このような接触や遭遇についての研究はあまり進んでいません。今年の国際交流班は、時代を遡って鳥取における漂流民、宣教師、占領期などの歴史について調査することにしました。鳥取県立図書館、県立公文書館、鳥取市歴史博物館、鳥取教会などの施設訪問、日本語と英語の史料調査、住民や専門家の聞き取り調査、様々なイベントへの参加の結果について発表します。



1909年の鳥取幼稚園卒園生、教師とアンナ・ベネット園長
(大前幸正編『愛真幼稚園百年史』2007年より)

4

15:30～

戦後鳥取のラジオドラマ「五平老人」一次世代の〈森〉を支えた人々

私たちは、敗戦後にNHK鳥取放送局で放送されたラジオドラマを研究対象としています。今年、考察・再現の対象として選んだ「五平老人」（昭和27年4月4日放送）は、全国的な緑化推進運動の一環である「緑の週間」にちなんで放送されたもので、満州からの引揚者や戦災孤児が木挽きとして生きることを決意し、戦前から林業一筋に生きて来た「五平」とともに、戦争によって荒廃した国土の復興を支える姿を描いています。作品の時代背景について学び、再現を試みることで、ラジオドラマの制作者および享受者の想いに迫ります。



「五平老人」の録音風景

鳥取大学地域学部地域文化学科地域調査成果発表会